資料4

★代…代替評価指標であり妥当性としては低い。引き続き開発が必要である。

番号	個別施策	指標	

1	個別施策	指標	初期アウトカム
	・拠点病院等では、医師からの診断結果や病状説明、治療方針の決定時等に、患者・家族の状況を踏まえて看護師や公認心理師等が同席し、治療プロセス全体にわたり説明の理解度を確認しながら、患者・家族等とともに方針を決定する体制を整備する		**①医療者が、患者・家族等の理解度を確認しながら、分かりやすく説明できている**
	・拠点病院等では、医師からの診断結果や病状の説明、治療方針の決定時等が行われた後、必ず同席した看護師または公認心理師等が患者・家族等とともに振り返りを行い、その際に、がん相談支援センターが設置されており、相談対応を行っていることを説明する		**②医療者が、患者・家族等に対して、がん相談支援センターの存在や利用方法を適切に案内できている**
	・都道府県及び都道府県がん診療連携協議会は、拠点病院以外でがん診療を行う医療機関に対し、初診時に病院職員(医師を含む)が、がん患者及びその家族等に対して、拠点病院等には相談支援を担う部署があり、相談対応を行っていることを説明するよう働きかける		**①がん相談支援センターについて知っている患者・家族が増えている**
	・拠点病院等は、初診時に病院職員(医師を含む)が、すべてのがん患者及びその家族等に対し、がん相談支援センターが設置され相談対応を行っていることを説明する		
	・拠点病院等は、強化事業費を用いて、国立がん研究センターから、がん相談支援センターを紹介する冊子及び紹介ビデオを購入し、初診時にすべてのがん患者及びその家族へ紹介冊子を配布し、かつビデオを視聴させる		
	・都道府県及び都道府県がん診療連携協議会は、拠点病院以外でがん診療を行う医療機関に対し、初診時に各診療科を受診後、すべてのがん患者ががん相談を行う部署を訪問させる方策を整えるように働きかける		**②患者・家族等が、治療開始前までにがん相談支援センターを訪問できている**
	・拠点病院等は、初診時に各診療科を受診後、すべてのがん患者ががん相談支援センターを訪問させる方策を整える		
	・拠点病院等の院長およびがん相談支援センター長は、がん相談支援センターの運営会議に出席し、その運営において中心的な役割を担う		**③病院幹部が、相談支援の役割と重要性を理解し、がん相談支援センターを組織的に支援する後ろ盾となっている**
	・拠点病院等の院長およびがん相談支援センター長は、強化事業費を用いて、相談者からのフィードバックを得る体制を整備する		
	・がん相談支援センターのがん専門相談員は、緩和ケアセンターの運営会議をはじめ院内の各種会議の委員として出席し、多職種や他部門との連携を図る		**④がん相談支援センターにおいて、がん専門相談員が多職種・他部門と連携し、ハブ機能を発揮して活動できている**
	・がん相談支援センターのがん専門相談員は、相談者からのフィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上に活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設と情報を共有する		
	・がん相談支援センターのがん専門相談員は、患者・家族等の生活全体を見据え、多角的な視点と全人的な理解に基づいた支援を行う		**⑤がん専門相談員が、患者・家族等の生活全体を見据え、多角的な視点と全人的な理解に基づく相談支援をできている**
	・当道府県及び都道府県がん診療連携協議会は、拠点病院以外のがん診療を行う医療機関に対し、がん相談支援センターに準じた部署を整備するよう働きかける		
	・都道府県がん診療連携協議会は、拠点病院以外のがん診療を行う医療機関に対し、がん患者に対する相談支援を行う医療者向けに研修会を開催し、拠点病院におけるがん相談のノウハウを伝える		
	・都道府県及び都道府県がん診療連携協議会は、がんピアサポーター養成研修会を毎年定期的に開催し、がんピアサポーターを養成する		**①拠点病院等で、患者・家族等がピアサポートを受けることができている**
	・がん相談支援センターは、定期的にがんピアサポーターによるピアサポートを行う		
	・拠点病院等は、ピアサポーターを活用した患者サロンを定期的に開催する		**②拠点病院等で、ピアサポーターを活用した患者サロンに患者・家族等が参加できている**
	・拠点病院等は、拠点病院等では患者会等との連携のための会議を定期的に開催する		**③拠点病院等で、患者会等との協力関係が構築できている**

番号	C　中間アウトカム

1	中間アウトカム	指標
1−1	**すべてのがん患者及びその家族等が、医療者と十分に対話できている**	・医療スタッフと十分な対話ができた人 ・医療スタッフが耳を傾け理解し ようとしてくれていたと思う人 ・がん治療を担当した医師が相談しやすかったと思う人 ・がん治療を担当した医師以外に も相談しやすい医療スタッフが いたと思う人
1−2	**すべてのがん患者及びその家族等が、質の高い相談支援を受けることができている**	・がん相談支援センターを利用した人 ・がん相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合 ・がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う人
1−3	**ニーズのあるすべてのがん患者およびその家族等が、ピアサポートを受けることができている**	・ピアサポートを利用した人 ・ピアサポートが役立った人 （ピアサポートを知っている、かつ、利用した人のみ）

番号	B　分野アウトカム

1	分野アウトカム	指標
1	**すべてのがん患者及びその家族等の不安や悩みが、相談支援により、軽減できている**	・がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う人 ・治療スケジュールの見通しに関する情報を得ることができた人 ・治療による副作用などに関して見通しを持てた人 ★代

番号	A　最終アウトカム

1	アウトカム	指標
1	**すべてのがん患者及びその家族等の苦痛の軽減並びに療養生活の質が維持・向上ができている**	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合
2	**すべてての人ががんについて正しく理解し、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きることができている**	